

フレーム張込スクリーン
SKH (100・120インチ)

取扱説明書



株式会社 ケイ アイ シー

注意事項

- ・本書に従って製品組立を実施してください。本書の組立手順に沿わない組立に起因する事故、損傷及び機能不全については製品保証対象とならず、メーカー及び販売元は一切の責任を負いかねます。
- ・本製品は必ず2人で組立作業を行ってください。
- ・スクリーン生地をねじったり、捻ったりしないようにお取扱ください。生地のねじれ、捻りの跡は生地表面に残ります。
- ・生地の張込時には保護シートを使用してください。
- ・スクリーン生地に傷を付けたり、ハサミ・カッター等の鋭利なものは生地に近づけないようにしてください。
- ・製品組立時には部品の鋭利な部分の取扱いにご注意ください。
また、小さなお子様が製品に近づかないようにお気を付けください。
- ・スクリーン生地表面の埃、指紋などを除去する際は、羽毛ダスターまたは水で湿らせた柔らかい布を使用し、軽く拭き取ってください。
拭取り時、生地表面を強く押さないでください。

No.	パーツリスト	数量	概観	No.	パーツリスト	数量	概観
1	【アルミフレーム（横）】	2		13	【ボタンボルト（M6×6）】 （化粧フレーム固定用）	10 （うち予備2）	
2	【アルミフレーム（縦）】	2		14	【バーナット（4穴用）】	4	
3	【化粧フレーム（横）】	2		15	【上部取付金具（スクリーン側）】	2	
4	【化粧フレーム（縦）】	2		16	【下部取付金具（スクリーン側）】	2	
5	【サポートバー 1】	1		17	【上部取付金具（壁面側）】	2	
6	【スクリーン生地】	1		18	【下部取付金具（壁面側）】	2	
7	【スクリーン張込用芯材（横）】	2		19	【トラスネジ（M6×8）】 （スクリーン側取付金具用）	8	
8	【スクリーン張込用芯材（縦）】	2		20	【トラスネジ（M4×8）】 （下部取付金具固定用）	2	
9	【スプリング】	ラベル参照		21	【M4六角レンチ】 （アルミフレーム固定用）	1	
10	【バーナット（6穴用）】	2		22	【M3六角レンチ】 （化粧フレーム固定用）	1	
11	【サポートバー固定金具】	2		23	【フック棒】	2	
12	【ボタンボルト（M6×8）】 （アルミフレーム組立用）	44 （うち予備6）		24	【養生シート】	1	

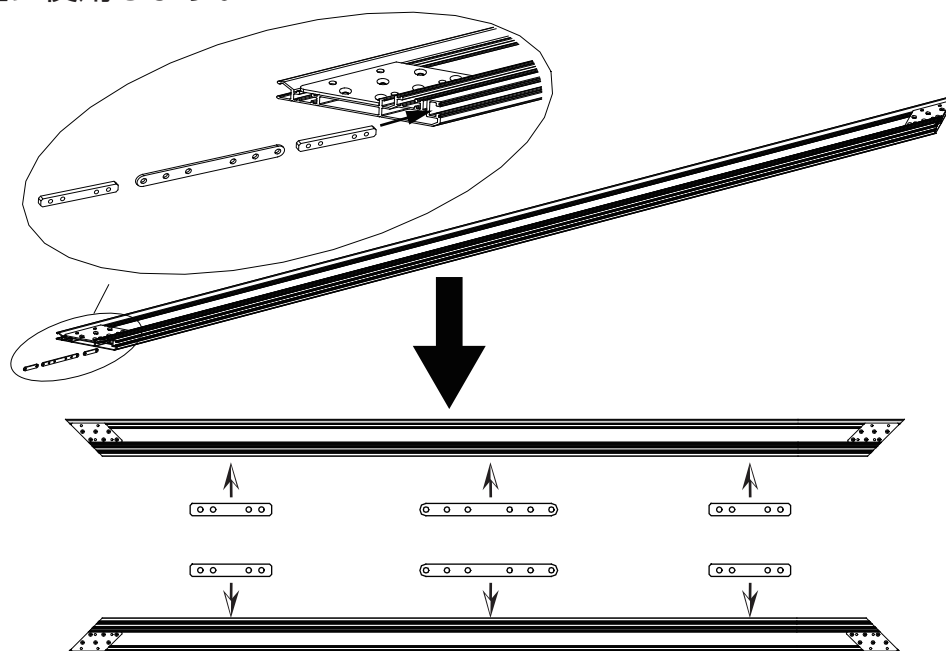
組立手順

1. アルミフレーム組立

1-1

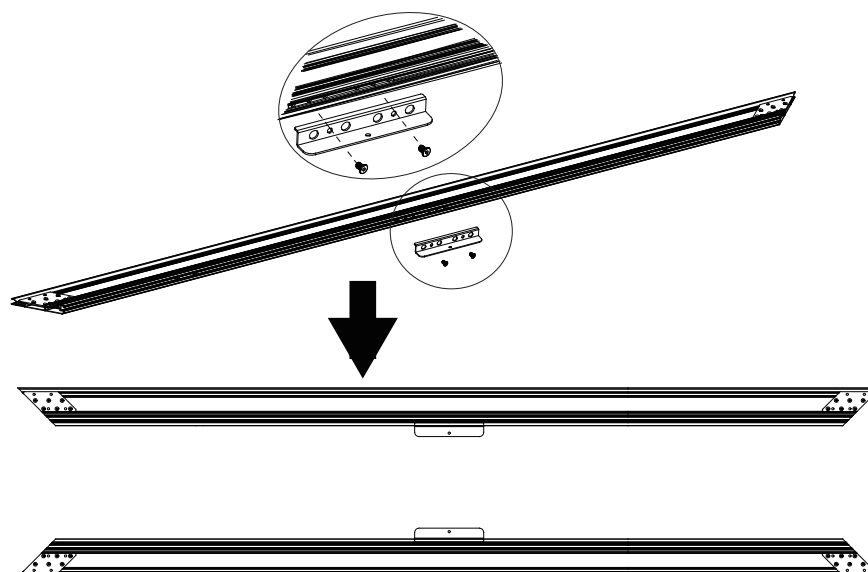
上下【①アルミフレーム(横)】の内側レールに【⑭バーナット(4穴用)】2個と【⑩バーナット(6穴用)】1個を入れます。
(下部図の配置になるようにお願いします)

※ここで用意するバーナットは⑤サポートバー及び⑮壁面取付金具の固定に使用します。



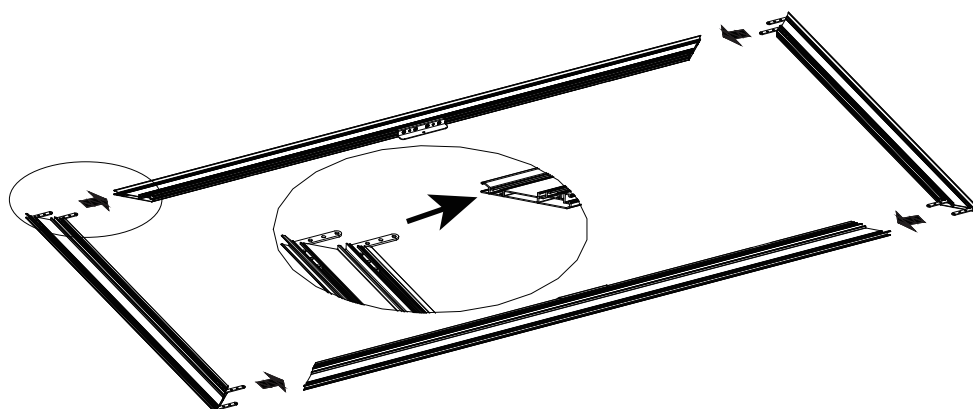
1-2

アルミフレームに入れた【⑩バーナット(6穴用)】に【⑫ボタンボルト(M6×8)】を使用して【⑪サポートバー固定金具】を取り付けます。



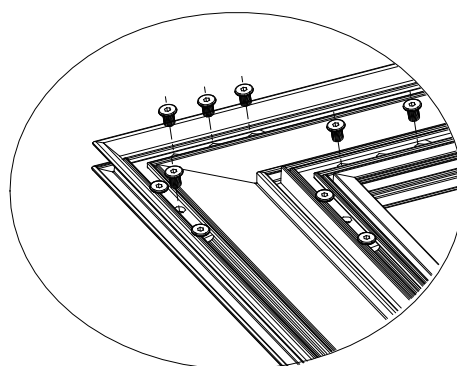
1-3

【②アルミフレーム(縦)】の両端に取付けられたコーナーブラケットを
 【①アルミフレーム(横)】に差し込んでください。
 四隅が直角になっていることを確認して【⑫ボタンボルト (M6×8)】
 を使用して固定します。



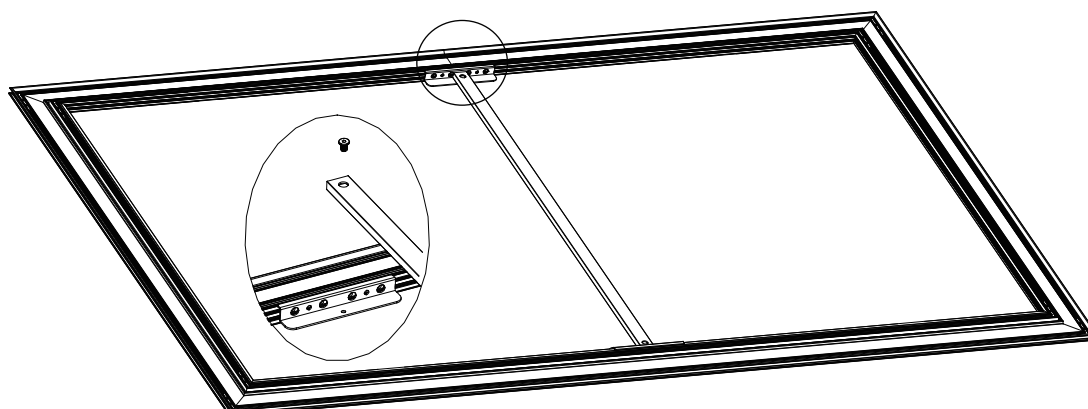
右図のように内側のL型金具の
 中央のネジ穴は使用しません。

※後ほど化粧フレームを取付ける
 際に使用します。



1-4

1-2で取付けた【⑪サポートバー固定金具】に【⑤サポートバー】
 を【⑫ボタンボルト (M6×8)】を使用して固定します。



2. スクリーン生地 of 張込

注意：

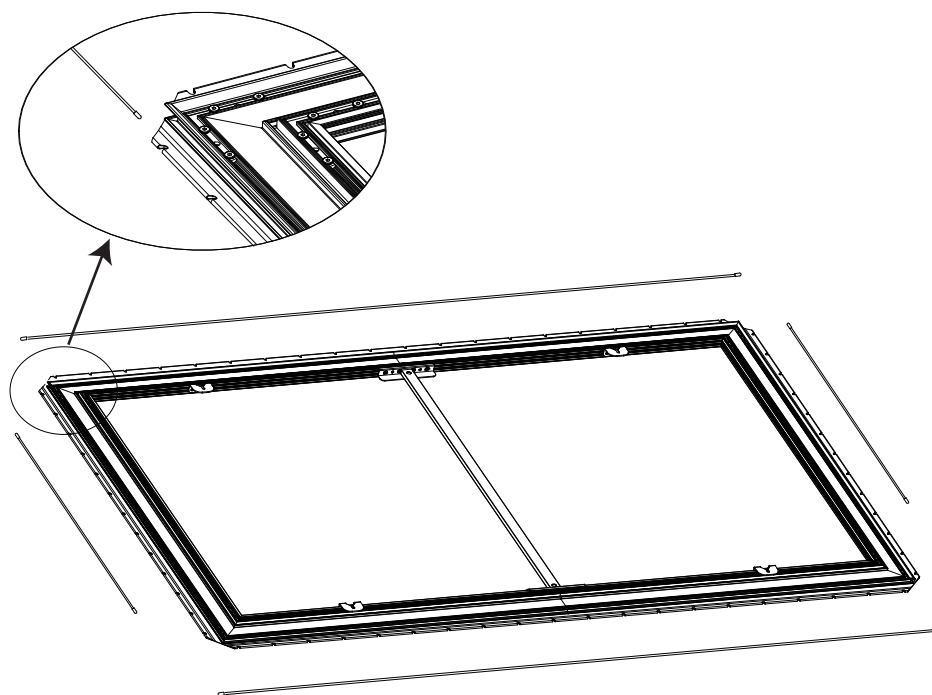
- ・スクリーン生地を扱う際は常に幕面の平面性を保ってください。
- ・平面性を保つためにスクリーン生地は折り目がつかないように慎重に広げてください。
- ・スクリーン生地の下に障害物がないことを確認してください。
また、スクリーン生地の上に物を置かないでください。
- ・スクリーン生地を扱う作業中は手袋の着用を推奨します。

2-1

上記の注意事項に気を付けながら平らな床面に【⑥スクリーン生地】を【②④養生シート】と一緒に広げてください。この時スクリーンの投影面が下向きになっていることを確認してください。

【⑥スクリーン生地】の四方のポケットになっているところに【⑦スクリーン張込用芯材（横）】と【⑧スクリーン張込用芯材（縦）】を通していきます。

【⑥スクリーン生地】の上に先ほど組立てたアルミフレームを静かに置きます。アルミフレームはボルトが見える面を上、スクリーン生地の四方の長さが均等になるように配置してください。

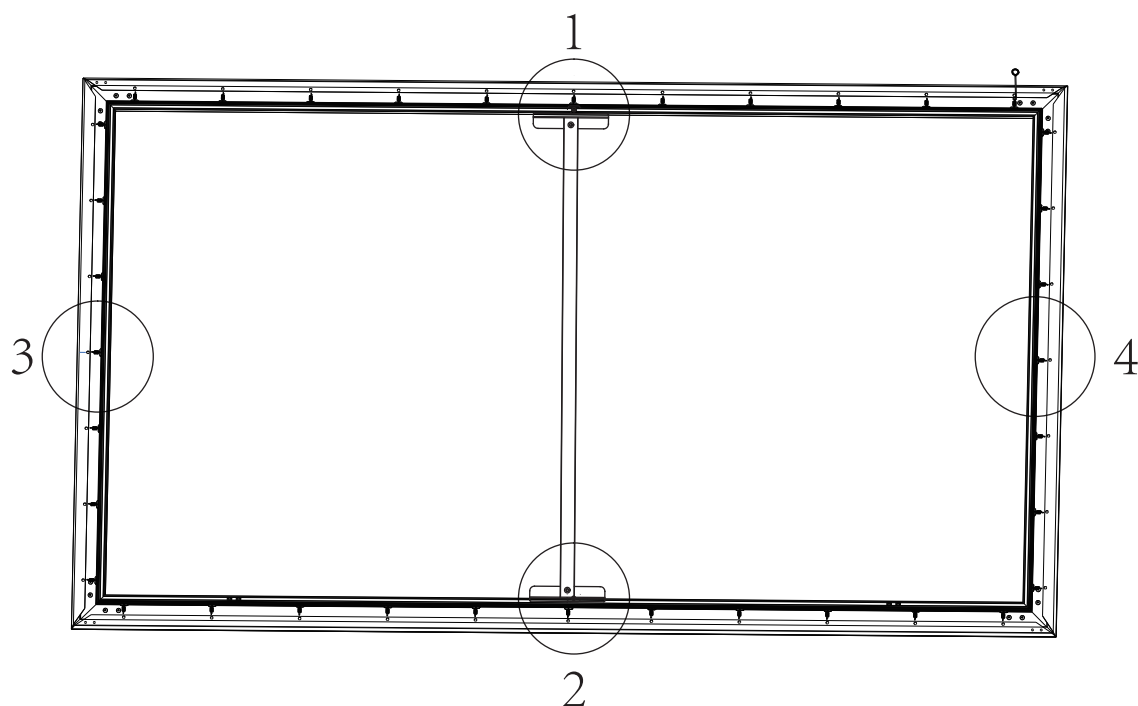
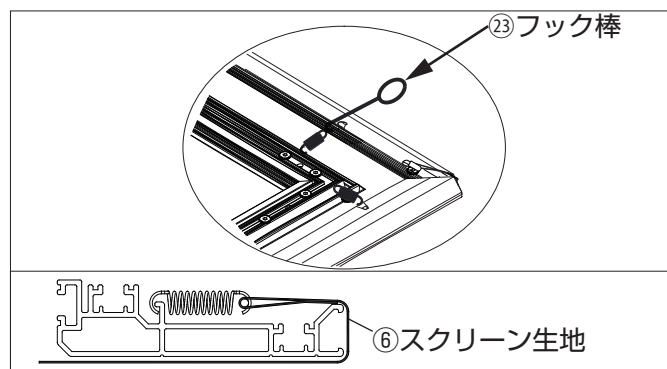
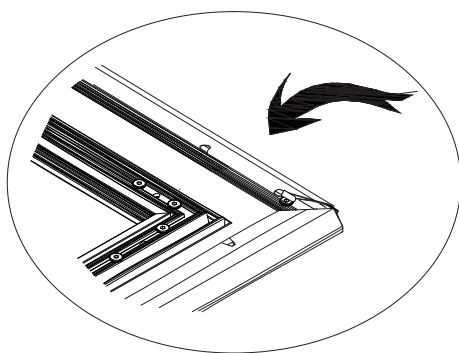


2-2

【⑥スクリーン生地】の端をアルミフレームに巻き付けるように折り返します。下図に記した順番に各フレーム中央付近から【⑨スプリング】を引掛けます。

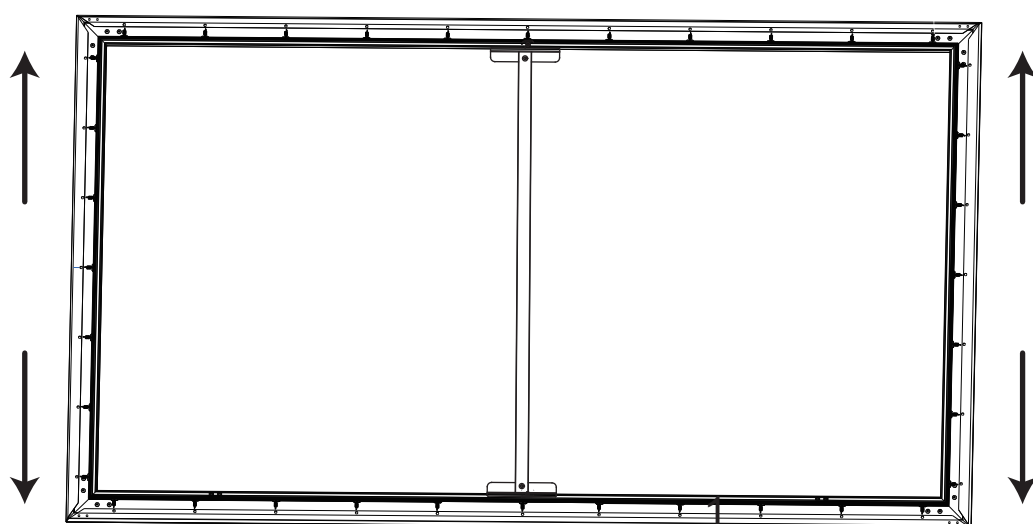
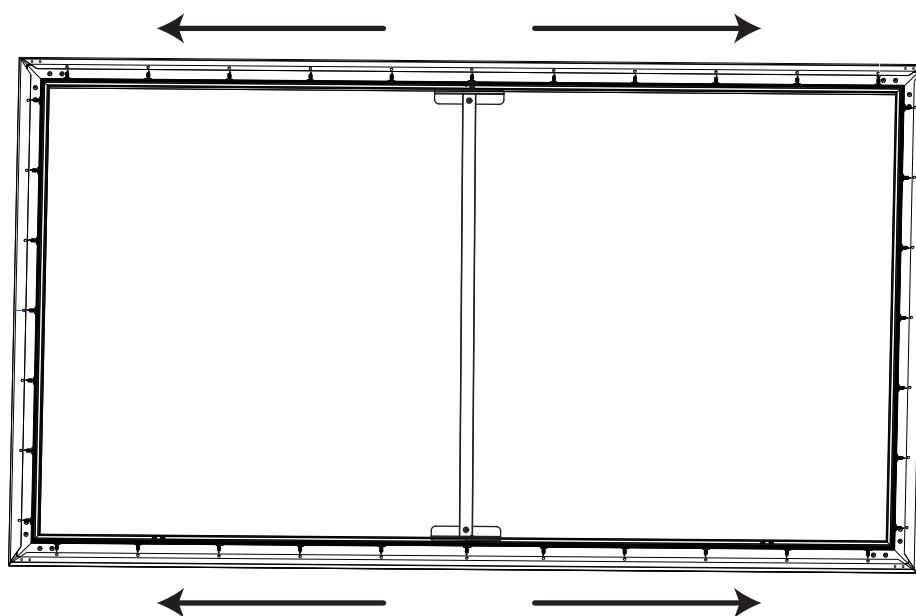
【⑨スプリング】は両端でフックのサイズが違っており、小さいほうのフックをアルミフレームの溝、大きいほうのフックをスクリーン生地に通した【⑦、⑧スクリーン張込用芯材】に引掛けます。

【⑨スプリング】を引掛ける際は付属の【⑳フック棒】をお使いください。



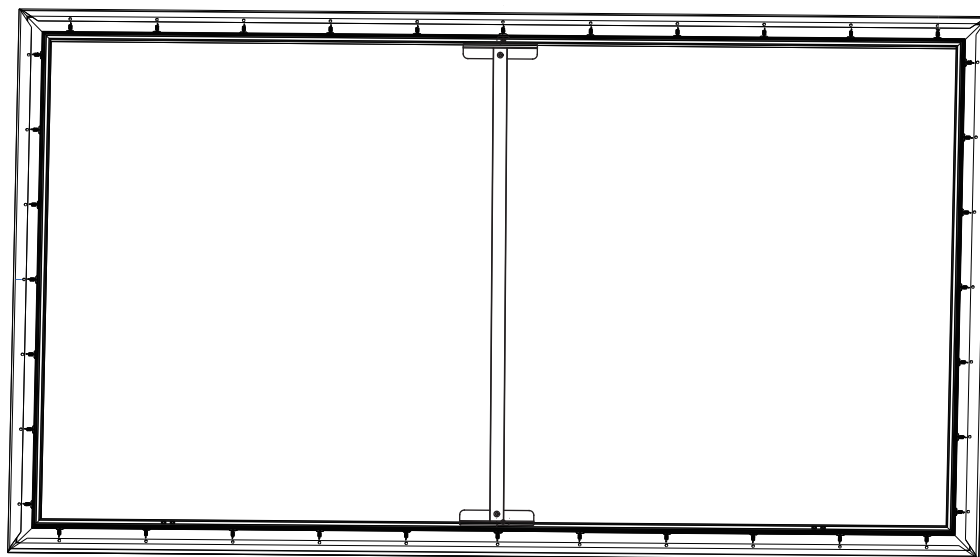
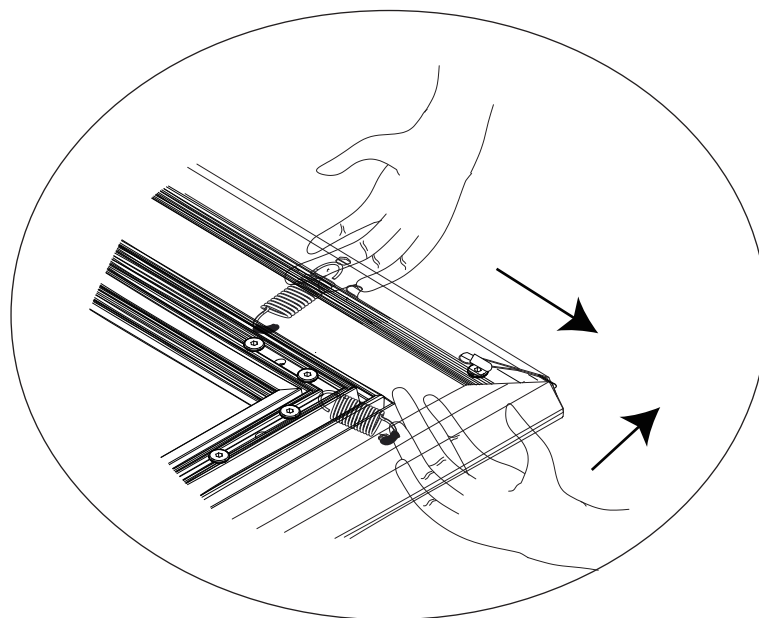
2-3

中央から順番に【⑨スプリング】を引掛けて、スクリーン生地を均等に張込んでいきます。



2-4

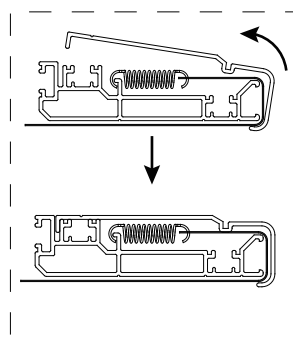
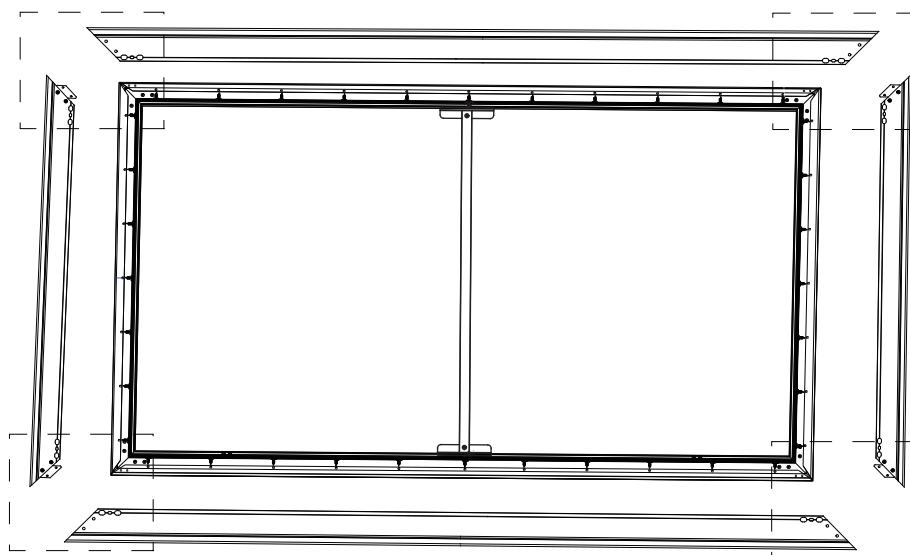
すべての【⑨スプリング】を引掛けることができれば、一度起こしてスクリーン生地の貼り具合を確認します。
生地にシワなどが発生していた場合は、四隅方向に生地を伸ばすように調整をしてください。



3. 化粧フレームの取付

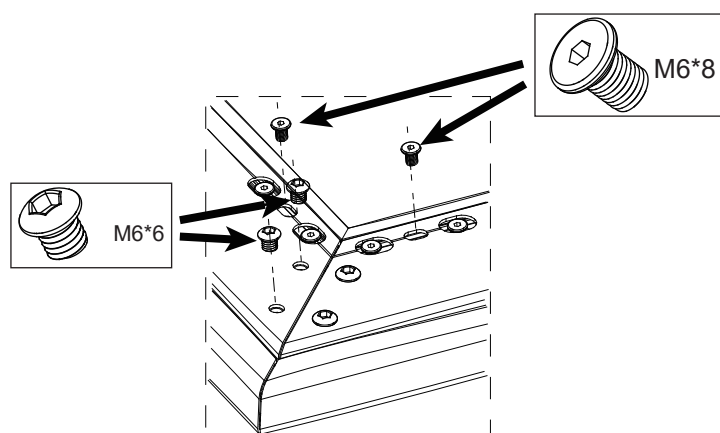
3-1

次に【⑥スクリーン生地】が取付けられたアルミフレームに
【③化粧フレーム（横）】、【④化粧フレーム（縦）】を取り
付けてください。



化粧フレームは短い部分が
スクリーンの投影面に被る
ように取り付けます。

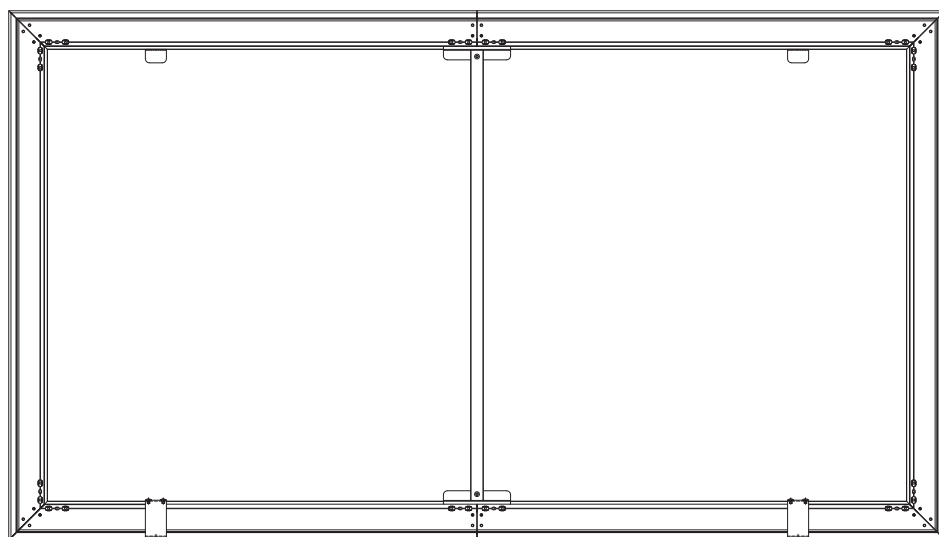
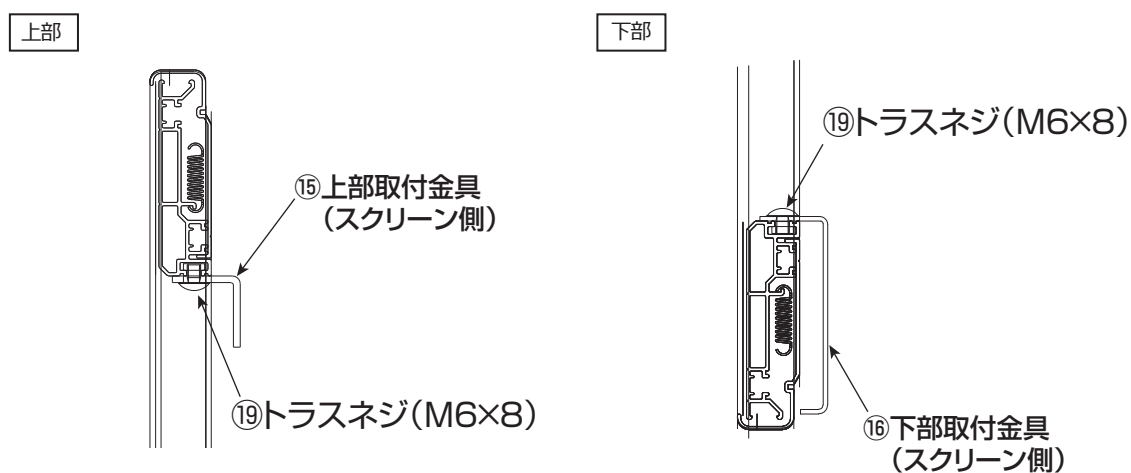
化粧フレームの取り付けができたなら四隅を下図のように付属の
【⑫ボタンボルト（M6×8）】と【⑬ボタンボルト（M6×6）】
を使用して固定します。



4. 壁面取付金具（スクリーン側）の取付

4-1

- ・上部アルミフレームに差し込んだ【⑭バーナット(4穴用)】に【⑮上部取付金具(スクリーン側)】2個を【⑲トラスネジ(M6×8)】で固定してください。
固定位置は壁面側取付金具とあわせてください。(次項参照)
- ・下部アルミフレームに差し込んだ【⑭バーナット(4穴用)】に【⑯下部取付金具(スクリーン側)】2個を【⑲トラスネジ(M6×8)】で固定してください。
固定位置は壁面側取付金具とあわせてください。



5. 壁面への金具及びスクリーン取付

5-1

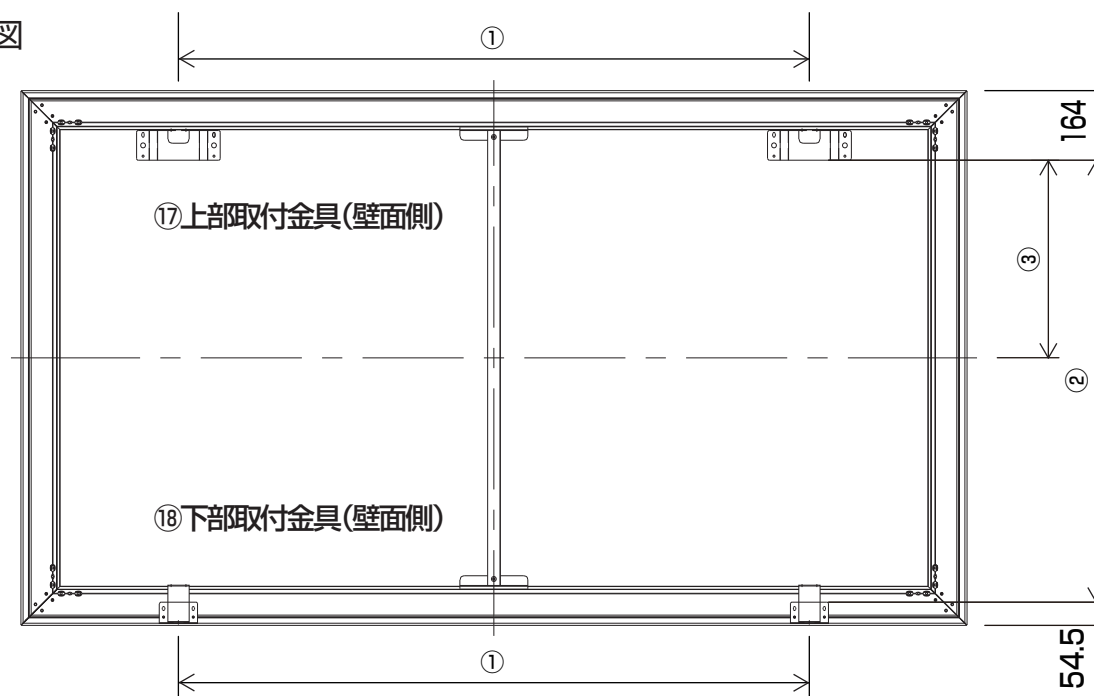
壁面に【⑰上部取付金具(壁面側)】と【⑱下部取付金具(壁面側)】を取付けます。
取付ピッチは各サイズにより異なりますので下記の図と表を参照してください。
但し、ワイド方向①は下地の関係で取りつかない場合は近い位置で取付けて下さい。

※壁面取付用のビスは付属しておりませんので、設置環境に応じたビスまたはアンカーをご用意ください。



取付ける場所の強度を十分に確認し、しっかりと固定してください。
強度が不足していると落下の危険があります。

図



表

【16:9サイズ】

スクリーン サイズ	①	②	③
100	1486	1041	465.5
120	1780	1290	590
150	2224	1664	777
180	2666	2037	964
200	2961	2286	1088

(単位: mm)

【16:10サイズ】

スクリーン サイズ	①	②	③
100	1446	1142	516
120	1708	1410	651
150	2164	1815	852
180	2594	2219	1055
200	2822	2488	1189

(単位: mm)

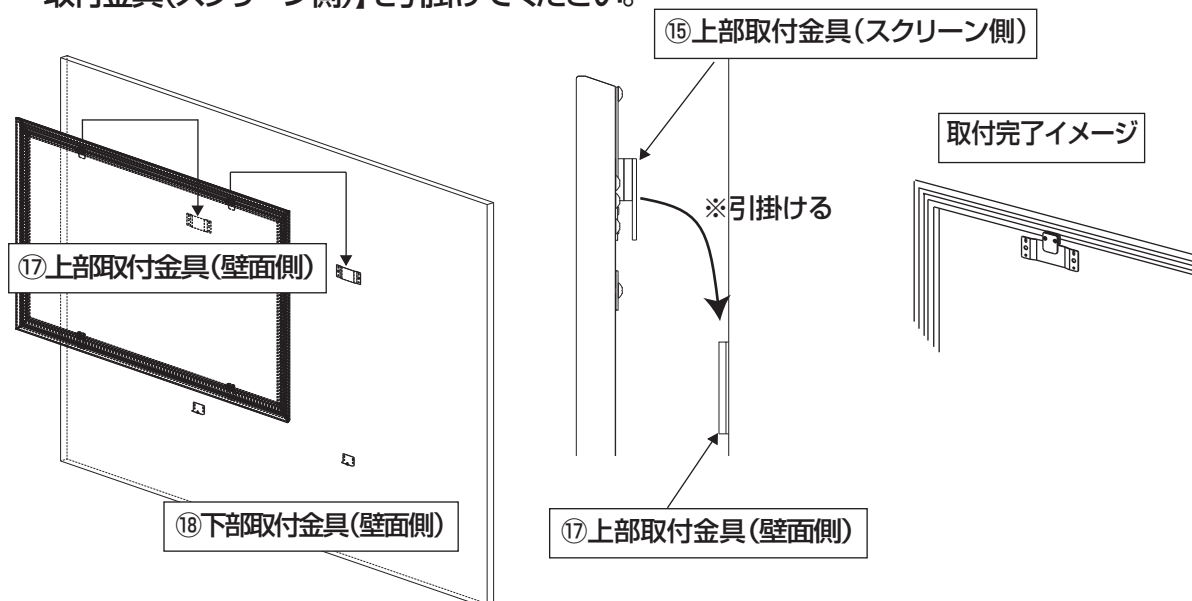
① (取付金具センター振分ピッチ)

② (⑰上部取付金具(壁面側) 下端⇔⑱下部取付金具(壁面側) 上端)

③ (スクリーンセンター⇔⑰上部取付金具(壁面側) 下端)

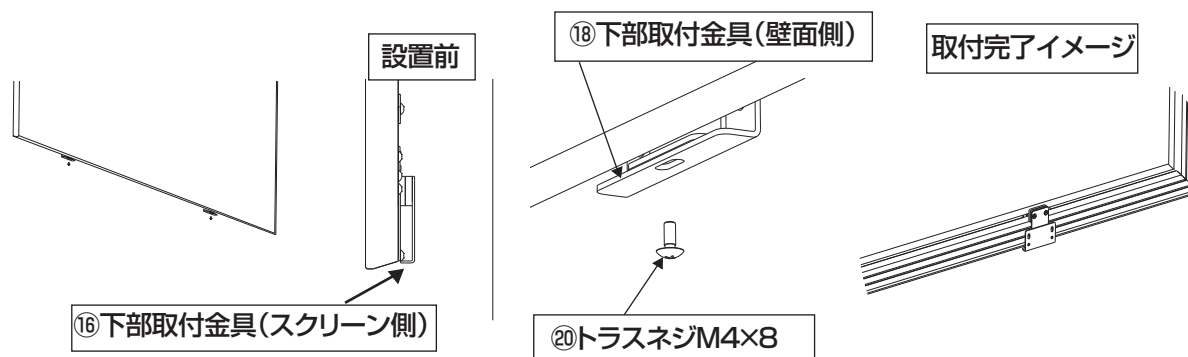
5-2

5-1で取付けた【⑰取付金具(壁面側)】にスクリーン背面の上部に取付けた【⑮上部取付金具(スクリーン側)】を引掛けてください。



5-3

上部の取付金具がしっかり掛かっていることが確認出来たら、
【⑱下部取付金具(壁面側)】と【⑯下部取付金具(スクリーン側)】を
【⑳トラスネジ(M4×8)】で固定してください。



保証書

品名・形式

張込スクリーン SKH

販売店

保証期間
ご購入日より

1年間

ご購入日

お 名 前

〒

ご 住 所

ご 連 絡 先

お客様



株式会社 ケイ アイ シー

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-28-11

TEL. 03-3357-4839(代)

<https://www.kic-corp.co.jp>